

○事業所名	放課後デイゆりのき			
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 10日		～	令和6年 10月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	38
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 10日		～	令和6年 10月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の職員がおり、それぞれの知識を生かして支援にあたることが出来ている。	それぞれの考えを出し合えるカンファレンスにしている。自分たちの経験を出し合い、より良い支援につなげている。	研修・外部研修など知識を深められる場へ積極的に参加する。情報収集を職員それぞれで行い、情報を共有していく。
2	様々な障害特性の児を受け入れ、障害児の差別・区別化していない事業所となっている。（みんな一緒）	どの児も利用していただくことを基本とし、対応していく。安心安全に利用するにはどうしたらいいかを考えている。	障害特性について知識ををつけたり、医療的ケアについての知識を深めていく。知らないことが不安につながるので、知っていくことを意識する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	軽度の障害児に対するスキルが少ない。専門的な療育の提供は難しい。	軽度の児の利用も増やしていく。	軽度の児も重度の児にも提供できる活動プログラムを考える。重度の児が利用する事業所と誤解されている所もあるので、正しく広報していく。
2	車椅子ユーザーも多く利用している為、部屋が手狭になる事もある。		車いすユーザーの割合を考慮し、スケジュール管理をしていく。
3			